

岩本 真一 著

近代日本の衣服産業

—姫路市藤本仕立店にみる展開—

▶A5判上製・368頁／定価：本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1981-0

【2019年10月刊行】

衣服とは何か、衣服産業とは何か——

日本の衣服産業は、19世紀中期からの約1世紀間に目まぐるしく進展した。しかし急速な産業化はこの分野の学術研究を混乱させ、いまだ十分な議論は積み重ねられていない。

本書では、兵庫県姫路市の小規模裁縫業者（藤本仕立店）の家文書を主な史料としながら、その創業から廃業までの姿を追った。戦時経済統制や他産地の動向など、時代の流れに翻弄された同家の実態を浮き彫りにすることで、新たな切り口から近代衣服産業の展開を描く。

【内容目次】

序章 本書の主題と藤本仕立店の概要

本書の主題／藤本仕立店の概要／藤本家文書の概要

補論1 近代日本の衣服産業史

前近代と近代における衣服産業の概観／素材からみた近代日本の衣服産業

◆第一部 藤本仕立店の商品・生産・流通◆

第一章 生産体制と流通体制

通勤工と受託工の仕事状況／ミシンの導入／生産体制／流通体制

第二章 取扱商品の主な形態—和服の商品化—

印袴纏／柔道着／夏襦袢

第三章 取扱商品の構成—多種性の要因と意義—

商品の多種性とその要素／商品の多種性とその要因／1930年頃の取扱品目

補論2 近現代日本で商品化された衣服

戦前『工業統計表』の出荷品目／戦時「繊維製品配給消費統制規則」の指定品目／戦後『工業統計表』の出荷品目

◆第二部 戦時体制と衣服産業の再編◆

第四章 一九三〇年代までの販売圏の展開とその背景

仕事着の卸売販売圏／柔道着の小売販売圏

第五章 戦時経済統制下の衣服産業

繊維産業と衣服産業にみる経営体転換／戦時経済統制下における組合と有限会社の区別の必要性／衣服産業からみた統制史の概要／組合中心政策／企業中心政策

第六章 戦時経済統制下の藤本仕立店

四府県の衣服産業の全国的位置づけ／統制への対応(1938-39年)／統制への対応(1940-41年)／統制への対応(1942-44年)

補論3 第二海軍衣糧廠姫路本廠と生産組織

海軍衣糧廠と浅田芳朗『姫路・第二海軍衣糧廠』／開庁までの経緯と人事組織／廠内の生産組織／廠外の生産組織

第七章 戦時経済統制下の業態と取引状況

統制関連調査の概要／主要品目にみる業態

第八章 資産の動向

「棚卸」の構造の費目／費目の動向／戦時経済統制を乗り越えた財源

終章 近代日本の衣服産業と藤本仕立店研究の意義

課題の再検討／先行研究の二項対立と日本一元化に対する批判

いわもと・しんいち…大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程修了, 博士(経済学)。現在、大阪市立大学経済学部特任助教, 同志社大学経済学部嘱託講師ほか。


思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	近代日本の衣服産業	本体7,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1981-0
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担)			
		◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		本書HPのQRコード